

第32回 千葉県高文連放送コンテスト 募集要項



千葉県高文連放送専門部会
イメージキャラクター 「ほのは」

- 〈1〉期 日 令和元年11月16日(土)(アナウンス部門、朗読部門予選、番組受付) ・ 17日(日)(全部門本選)
- 〈2〉時 間 9:00～17:30(受付 9:00～9:25)
- 〈3〉場 所 千葉県教育会館 大ホール (千葉市中央区中央4-13-10)
- 〈4〉主 催 千葉県高等学校文化連盟 千葉県高等学校文化連盟放送専門部会 千葉県
- 〈5〉共 催 千葉県教育委員会 千葉県高等学校教育研究会視聴覚部会
- 〈6〉後 援 千葉市
- 〈7〉目 的 千葉県内の高等学校生徒による芸術文化活動の発表会を総合的に開催し、創作活動の向上を図るとともに、相互の交流を深めることにより芸術文化の創造に資する。
- 〈8〉実施部門 1)ビデオメッセージ(VM)部門 2)オーディオピクチャー(AP)部門
3)アナウンス部門 4)朗 読 部 門

※CM部門は今年度からは行いません。

優秀賞受賞者・作品の上位者・作品は、**第44回全国高等学校総合文化祭(高知大会) 放送部門**へ推薦されます。

日時:令和2年(2020年) 8月 1日(土)～8月 2日(日)

会場:高知県立青少年センター ・ のいち ふれあいセンター(高知県香南市野市町)

全国大会推薦に次ぐ優秀賞受賞者・作品は、**第17回関東地区高校放送コンクール**へ推薦されます。

日時:令和2年(2020年) 1月 26日(日)

会場:栃木県立宇都宮工業高等学校(栃木県宇都宮市雀宮町)

- 〈9〉参加費 アナウンス・朗読部門 1名につき 500円
VM・AP部門 1作品につき 1,000円

(10) 参加要項

1. 参加資格

令和元年度(平成31年度)に千葉県高等学校文化連盟放送専門部会に加盟している高等学校の1, 2学年の生徒およびその作品です。ただし、以下の参加は認めません。

- ①「VM部門」「AP部門」で、**昨年度 全国大会に推薦された学校が、同一部門に参加すること。**
※昨年度、関東大会に推薦された学校は参加できます。
- ②「アナウンス部門」「朗読部門」で、**昨年度 全国大会に推薦された生徒が、同一部門に参加すること。**
※昨年度、関東大会に推薦された生徒は参加できます。
- ③ 同一人物が、「アナウンス部門」「朗読部門」の両方に参加すること。

2. アナウンス・朗読の予選免除

- ①以下の条件を満たす者は、予選を免除します。
 1. 今年度、NHK杯全国高校放送コンテスト(Nコン)アナウンス部門または朗読部門で**全国大会に出場した者**が、本コンテストに参加する場合(部門は問いません)
 2. 昨年度、高文連放送コンテストアナウンス部門または朗読部門で**優秀賞を獲得した者**が、本コンテストに参加する場合(部門は問いません)
- ②予選免除者は、**予選当日 8時35分から、1分30秒以内**の読みの練習を許可します。
予選免除該当者は、申込用紙の備考欄に練習希望者は「練習希望」と、練習不要の場合は、「練習不要」と書いてください。
※当日は8時30分までに受付に集合。時間に間合わない場合は、練習できません。
- ③「優良賞」は、予選に出場し、予選を通過した者のみに授与されます。予選免除者に優良賞は授与されません。

3. 参加申し込み

千葉県高等学校文化連盟放送専門部会Webページ <http://chibakoubun-hoso.main.jp/> から申込用紙(「32entry」(エクセルファイル))をダウンロードし、募集要項を熟読の上、参加申込用紙に必要な事項を入力し、**10月25日(金)までにメールの添付ファイルで**下記アドレスへお送り下さい。なお、ファイル名は、「**32申込用紙〇〇高校**」とします。

申込先のメールアドレスは、右の通りです。
(千葉県高文連放送専門部会申込専用アドレス)

ccfbc11@gmail.com

問い合わせ先 コンテスト担当 流通経済大学付属柏高等学校 志村 結城 04-7131-5611

上記の申し込み用メールアドレスでも問い合わせ可能です。

※申込みをする前に、必ず、**必要事項を入力した申込書をプリントアウトし、参加生徒に確認を行ってください。**申し込み後の変更は**いっさい認めません。**(例年、生徒名、朗読作品、番組のタイトルなどが間違っている例があります) 内容、タイトル等はよく考え、確認の上、申し込んでください。

申込み後の連絡は、申込書に記入されたメールアドレスで行いますので、申込みもできるだけそのメールアドレス(担当顧問が直接お使いのメールアドレス)でお願いします。

申し込み締め切り日から2日以内に、「参加申込書」を受領した旨のメールをお送りします。

また、放送専門部会Web上に申込み状況を随時表示します。

そのメールが届かない・Webに表示がない場合には、必ずご連絡下さい。

なお、申込みの際に、参加生徒には以下の2点の許諾を頂きます。

- ①コンテスト終了後に入賞の結果(氏名・学校名)をWebに公開しますので、その旨の許諾
- ②本コンテストの様子が、千葉県ケーブルテレビ協議会加盟のケーブルテレビ局で放映される予定ですので、肖像権に関する許諾

参加申込みをした時点で、上記の2点に関しても許諾を頂いたものとします。
特別な事情で配慮が必要な場合のみ、顧問の先生を通じてご連絡ください。

「参加に必要な書類」は「<http://chibakoubun-hoso.main.jp/>」に9月以降にアップロードします。各校でダウンロードしてお使い下さい。なおこのWebページにアップされる書類は以下の通りです。

【募集要項】(PDF)

【参加申込書】(Excel) : 5枚のシートになっています

【書類関係】 : (PDF・Excelファイル等で提供します)

「VM・AP部門表紙〔様式1-1〕」 「スタッフ・キャスト〔様式1-2〕」

「著作物一覧表〔様式1-3〕」

「アナウンス・朗読原稿様式〔様式2-1〕」〔様式2-2〕

「音源使用許諾申請書〔様式3-1〕」 「資料等使用許諾申請書〔様式3-2〕」

「高文連ラベル様式(ケース用)」

「VM・AP用テストパターン」

4. 受付

(期日) **11月16日(土)**

①「アナウンス部門」「朗読部門」原稿提出 **9:00～9:25(時間厳守)**

②「VM部門」「AP部門」書類及び作品提出 **14:00～14:30(時間厳守)**

※ 受付時間内であっても、いったん受付に提出された原稿・書類・作品はお返ししません。

※ VM・AP部門の非公開予選を前倒して行う場合があります。(「9. 注意」の項、参照)

5. 参加要項

1)ビデオメッセージ(VM)部門

郷土(千葉県内に限る)に関する話題を取り上げた自校オリジナルのビデオ作品 (ビデオカメラで撮影した映像を主体とした作品)。

※校内の域にとどまっている話題は不可

※著作権が他の団体に帰属している作品や、他のコンクール(コンテスト)に応募した作品、およびそれと同一素材等を利用し改作した類似作品の参加は認めません。

(規定)

① **各校1作品**を限度とします。

② 発表時間は**5分以内**(作品の再生は、主催者が行います。)

③ 作品は、**DVD-VIDEO形式**(NTSC規格, アスペクト比**16:9のみ**)。

メニューはつけない(ディスクを読み込めば、すぐに動画が再生されること)

バックアップ用を含めて該当するDVDを**2枚提出** ※ブルーレイディスク不可

④ 番組の**前後に5秒ずつ「様式規定」にあるテストパターン**を入れること。

(計時は、始めのテストパターン終了時～終わりのテストパターンの始まりまで)

テストパターンにフェード/トランジションのようなエフェクトをかけるはいけない。

⑤ 音声は**左右同じ音声**とする。

音声を片方のチャンネルに振ったり、サラウンド設定にしたりするのは不可。

⑥ **制作した学校名を直接表示したり(タイトルも含む)、クレジットコールのように音声で学校名をコールしたりすることはしない。また、ナレーションの中に校名(略称を含め)が含まれることも認められません。**ただし、作品の内容から学校名がわかることは差し支えありません。なお、**関東・全国大会ではこの制限はありませんので、作品の最後にクレジットを入れてください。**

⑦ ディスクレーベル面に、部門名、作品名、学校名をプリンタ印刷またはペンで明記すること。ケースに同様の内容のラベルを貼ること。(Webで提供されるラベル様式を使用するのが望ましい)

※全国大会(総合文化祭)・関東大会について

総文祭推薦校の作品は、決められた期間中に千葉県の事務局担当者が、動画データ(mp4, H264コーデック形式)をYouTubeチャンネルへの非公開アップロードする形で送ります。該当校には、決定次第連絡いたします。

関東大会推薦校の作品は、決められた期限までに、栃木県の担当者へDVD-Rを郵送する形で提出します。

2) オーディオピクチャー(AP)部門

ステレオ音声とデジタル静止画像を併用する**郷土(千葉県内に限る)に関する話題**を取り上げた内容の自校オリジナル作品とする。

※音声を主とし、デジタル静止画像 25画像以内を併用する作品とします。

※校内の域にとどまっている話題は不可

※著作権が他の団体に帰属している作品や、他のコンクール(コンテスト)に応募した作品、およびそれと同一素材等を利用し改作した類似作品の参加は認めません。

(規定)

- ① 各校1作品を限度とします。
- ② 発表時間は5分以内(作品の再生は、主催者が行います)
- ③ 作品は、DVD-VIDEO形式(NTSC規格, アスペクト比16:9)。
メニューはつけない(ディスクを読み込めば、すぐに動画が再生されること)
バックアップ用を含めて該当するDVDを2枚提出 ※ブルーレイディスク不可

※AP部門の千葉県大会の審査は、運営の都合で画像を静止画として取り扱ったDVDビデオの形式で行います。

関東大会は、本来のパソコンを用いたデジタル静止画像とCD再生による音声で表現することになります。下記様式の画像、音声をCD-Rで提出。各大会の実施要項の確認が必要です。

画像: JPEG・総容量100MB以内の静止画像, WXGA(1366×768)またはXGA(1024×768)

音声: 音楽CD形式のCD-Rに1作品分を1トラックに録音

- ④ 番組の前後に5秒ずつ「様式規定」にあるテストパターンを入れること。
(計時は、始めのテストパターン終了時～終わりのテストパターンの始まりまで)
テストパターンおよび作品中の画像にフェードのようなエフェクトをかけてはいけません。
- ⑤ 音声は左右同じ音声とする。
音声を左右片方のチャンネルに振ったり、サラウンド設定にしたりするのは不可。
- ⑥ AP部門は、静止画の作品です。写真の切替えや文字(テロップ)などにフェード(ディゾルブ)などの“動きのあるエフェクト”はかけてはいけません。
- ⑦ **制作した学校名を直接表示したり(タイトルも含む)、クレジットコールのように音声で学校名をコールしたりすることはしない。また、ナレーションの中に校名(略称を含め)が含まれることも認められません。**
ただし、作品の内容から学校名がわかることは差し支えありません。なお、関東・全国大会ではこの制限はありませんので、作品の最後にクレジットを入れてください。
- ⑧ ディスクレーベル面に、部門名、作品名、学校名をプリンタ印刷またはペンで明記すること。ケースに同様の内容のラベルを貼ること。(Webで提供されるラベル様式を使用するのが望ましい)

※全国大会(総合文化祭)・関東大会について

画像のサイズは、**関東大会ではXGA(1024×768)に指定**されています。トリミングやサイズの変更が必要な場合は、調整を行ってください。

総合文化祭(高知大会)では、特例で動画データの状態にします。VM部門同様、決められた期間中に千葉県の事務局担当者が、動画データ(mp4, H264コーデック形式)をYouTubeチャンネルへの非公開アップロードする形で送ります。該当校には、決定次第連絡いたします。

【VM部門, AP部門 書類の提出】

- ① 表紙〔様式1-1〕・・・部門名・タイトル・再生時間・制作意図(200字程度)を記入します。
- ② 制作スタッフ・キャスト一覧表〔様式1-2〕
- ③ 「使用著作物一覧表〔様式1-3〕」に必要事項を記入したもの(※次ページの項目④も参照)
※「使用著作物一覧表〔様式1-3〕」の記入については、
第66回NHK杯全国高校放送コンテスト「要項号」の『「権利処理一覧表」(記入例)』を参考のこと。
(「http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html」にもアップされています)

CUEシートの提出は、ありません。

ただし、著作物の番号は、番組の進行に合わせた順番にしてください。
許諾が必要ない著作物の場合は、著作物番号を丸数字にしてください。

「取材許諾」は、一覧表に記載する必要はありません。

市販の音楽やWeb上の素材を利用する場合、以下の方法で著作権処理を行ってください。

- (1) 著作権フリーの素材を使う場合は、その旨を記載した部分(CDジャケットなど)のコピーを添付。
(株)アーキー・(有)EXインダストリー等NHK杯で許容されている制作会社のものは不要

※NHK杯放送コンテストとの違い

ア インターネットからのフリーダウンロード音源なども使えますが、「フリーであることを示した部分」を印刷して添付すること。

イ NHK クリエイティブ・ライブラリーの素材(動画・静止画・音楽・効果音等)は、本コンテストでは完全フリーではありません。「利用のルール」の通り、映像作品中に「NHK」もしくは「NHKクリエイティブ・ライブラリー」と表示してください。

利用のルール <http://www1.nhk.or.jp/archives/creative/rule.html>

- (2) 音源製作会社(CD 製作会社又はレコード会社)に「音源使用許諾申請書」を用いて使用許諾申請をしてください。使用許諾が得られたものについては④へ進みます。許諾が得られない場合その楽曲は使用できません。

④音源を使用した場合には以下のもの

- ・レコード会社の音源使用許諾書〔様式3-1〕および回答書のコピー
- ・著作権者からの使用許諾書のコピー (JASRC管理の著作物については、「利用明細書」の写し)
- ・著作権フリーの条件を示した部分(書面)のコピー

※JASRC管理の音楽著作権物の処理については、

URL 「<http://www.jasrac.or.jp>」からダウンロードした専用の用紙やWeb申請(J-RAPP)を利用してください。

音楽に関する著作権については、JASRC(TEL.03-3481-2121, <http://www.jasrac.or.jp>)にお問い合わせください。

**JASRC管理の音楽著作権物については各学校で手続きをお願いすることになって
いますので、間違いのないようお願いいたします。**

- ・音楽以外の著作物を利用した場合にも、許諾を示す書類(様式3-2を使用するか、または同様の内容で許諾がいただけていれば書式は問いません)
- ・取材の許諾については、特に書面での提出は求めませんが、後に取材対象の方や団体とトラブルにならないよう十分に説明し(無断での撮影はしないこと)、各校の責任において処理を行ってください。なお、万が一権利の侵害から生じるトラブルが発生した場合、本コンテスト運営委員会は、一切の責任を負いません。

⑤ 仕上がりはA4サイズとし、2部提出します。(※1部は、主催者側で保管させていただきます。)

※本コンテストにおいて台本・CUEシートは提出不要です。

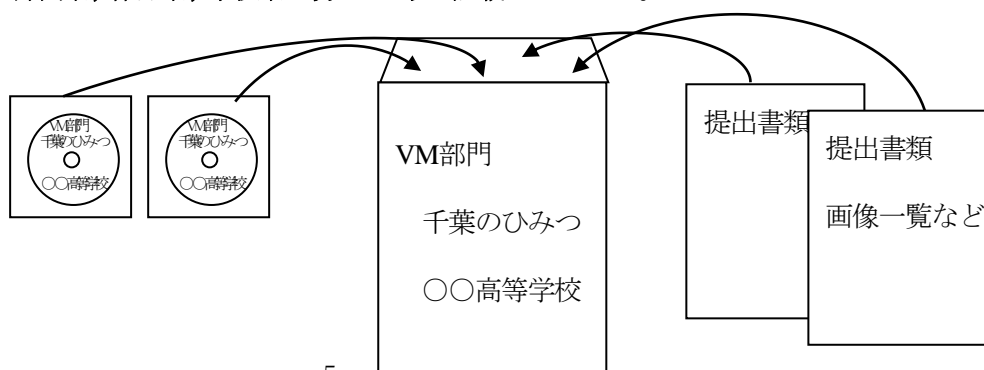
(全国・関東では提出を求められることがあります)

制作意図、制作スタッフ・キャスト一覧表、使用著作物一覧表、音楽著作権関連の用紙への記入は間違いのないよう十分に気をつけてください

※自作以外の著作物の複製を利用する場合は、著作権者に使用目的などを説明して理解と協力を求め、使用許可を得てください。また、プライバシー等の人権にも十分配慮しましょう。

- ⑥ AP部門は、使用した画像一覧(A4サイズ、合計容量も記したもの、できるだけカラー)を1枚にまとめて提出してください。(25画像以内、容量100MB以内であることを確認するため)

- ⑦ 作品DVD、バックアップDVDや書類などは、角2サイズ程度の封筒に入れ、封筒の表面に部門名、作品名、学校名が分かるように記載してください。



3)アナウンス部門

郷土(千葉県内)の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿

※校内の域にとどまっている話題は不可。

他のコンクール(コンテスト)に応募した原稿、それと同一素材等を利用し改作した類似原稿の参加は不可

(規定)

- ① 各校の参加数の制限はありません。
- ② 発表時間は、エントリー番号、氏名を含めて**1分30秒以内**
- ③ タイトル、学校名は言わない。(タイトルにも学校名は入れない)
- ④ 原稿の内容から学校名がわかることは差し支えありません。

* 本コンテストで推薦を受け全国・関東大会で発表する場合には、**学校名は読むこととなります。**

つまり、発表時間は学校名も含めて1分30秒以内ですので、このことを考慮して原稿を作って下さい。

また、全国・関東ではJPEG 形式のデジタル静止画像((全国大会WXGAサイズ/関東大会XGAサイズ・5枚以内)を併用することが可能です。

- ⑤ 予選と本選の原稿は同一のものとします。

【原稿の提出】

- ① [様式2-1] と [様式2-2] は、**必ず本年度のもの**を使用してください。
- ② 1～2ページは [様式2-1] を用い、表紙が1ページ目、**本文は2ページ目から**記入します。
- ③ 3ページ以降は、[様式2-2] (400字詰め原稿用紙) を用います。
- ④ 表紙には、部門名、氏名、原稿タイトル、予選の発表番号(11月初旬に発表)を記入します。
- ⑤ **学校名を欄外の所定の場所**に書いてください。
- ⑥ 仕上がりは**二つ折り、袋とじ、A5サイズ**とし、**2部提出**します。
- ⑦ 予選免除者は、予選練習受付時か発表順抽選時(16日)に提出してください。

4)朗読部門

千葉県ゆかりの作家の作品のまたは千葉県を舞台とした作品の中から原文のままを選ぶ

※**古典作品の現代語訳は、著作として出版されているもの**に限り認める。

高文連放送コンテストの主旨からして、郷土色を表出している文章が望ましい

応募作品について、申込み時に次の選択肢より一つ選んでください。

- ① 千葉県が舞台になっている場面(抽出箇所)
- ② 千葉県がその作品に大きく関わっていることが明らかな作品
(抽出箇所からは千葉の情報は読み取れないが、千葉県が舞台である作品)
- ③ 千葉県出身の作家の作品
- ④ 千葉県の学校に通っていた、または千葉県内で仕事をしていた作家の作品

※②③④については**千葉県以外の都道府県が特定される場面の朗読は認めない。**

場所が特定されない、架空の場所、外国などの場合はその限りではありません。

①～④の選択で誤解を招く恐れがある場合は、そのことの説明文を申込書に書くことは可

※「場面」とは読む場面をさします。作品のどこかで千葉県が舞台となっている場面があっても、読む場面が千葉県以外の場合は**適当ではありません。**

(規定)

- ① 各校の参加数の制限はありません。
- ② 学校名は言わないこと。
- ③ 本選の発表時間は、エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含めて**2分以内**。
- ④ 予選の発表時間は、エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含めて**1分30秒以内**
・「1分35秒」の時点でベルを鳴らし、ベルが鳴ったら途中でやめてください。

・予選では、タイムオーバーによる減点はしません。

・予選の原稿は、本選で読む原稿の中から選び、どこから読んでもかまいません。

ただし、**予選で読む箇所には、赤ペンで傍線を付してください。**

予選と本選の原稿は同一のものを使用します。(予選通過者の原稿は、運営側で預かります。)

* 本コンテストで推薦を受け全国・関東大会で発表する場合には、**学校名は読むこととなります。**

つまり、発表時間は、学校名も含めて2分以内ですので、このことを考慮して抽出箇所を選んで下さい。また、全国・関東では効果音やBGMを併用することは可能です。(スライド使用は不可)

【原稿の提出】

- ① [様式2-1] と [様式2-2] は、**必ず本年度のもの**を使用してください。
- ② 1～2ページは [様式2-1] を用い、表紙が1ページ目、**本文は2ページ目から**記入します。
- ③ 3ページ以降は、[様式2-2] (400字詰め原稿用紙) を用います。
- ④ 表紙には、部門名、氏名、作者名、作品名、予選の発表番号(11月初旬に発表)を記入します。

- ⑤ 学校名を欄外の所定の場所を書いてください。
- ⑥ 仕上がりは二つ折り、袋とじ、A5サイズとし、2部提出します。
- ⑦ 朗読部門は、予選で読む箇所に赤ペンで傍線を付してください。
- ⑧ 予選免除者は、予選練習受付時か発表順抽選時(16日)に提出してください。

【(参考) アナウンス・朗読部門 対比表】

部門	大会種別	原稿の前に発する項目(クレジット)と時間	画像/BGM
アナウンス部門	千葉県大会	番号、氏名 を含め1分30秒以内	—
	関東大会	番号、学校名、氏名 を含め1分30秒以内	画像使用可
	総合文化祭(全国大会)	学校名、氏名 を含め1分30秒以内	画像使用可
朗読部門	千葉県大会	番号、氏名、作者名、作品名 を含め1分30秒以内(予選) を含め2分以内(本選)	—
	関東大会	番号、学校名、氏名、作者名、作品名 を含め2分以内	—
	総合文化祭(全国大会)	学校名、氏名、作者名、作品名 を含め2分以内	BGM使用可

6. 審査員 千葉県高等学校文化連盟放送専門部会が指名します。

* 「アナウンス部門」「朗読部門」の予選の審査は、原則として参加校の顧問の先生全員にお願いする予定です。

7. 表彰

- ・優秀賞: VM部門 3, AP部門 2, アナウンス部門 6, 朗読部門 6,
- ・優良賞: VM部門 若干数, AP部門 若干数, アナウンス部門・朗読部門の本選出場者全員(予選免除者除く), (すべての部門の優秀賞受賞者を除く)
- ・奨励賞: VM部門, AP部門は若干数, アナウンス部門, 朗読部門の優良賞に次ぐ若干数

8. 全国・関東大会に推薦する作品数・人数 (優秀賞受賞作品から推薦されます)

① 全国大会に推薦する作品数

- 1) VM部門: 2作品 (各5名 計10名)
- 2) AP部門: 1作品 (5名)
- 3) アナウンス部門: 3名
- 4) 朗読部門: 3名

② 関東大会に推薦する作品数

- 1) VM部門: 1作品 (5名)
- 2) AP部門: 1作品 (5名)
- 3) アナウンス部門: 3名
- 4) 朗読部門: 3名

※番組部門 (VM・AP) では、各校で全国・関東全体で各校1作品までの推薦とします。

※個人部門 (アナウンス・朗読の全体) では、全国大会は各校で1名以内の推薦とします
個人部門の関東大会進出者数に各校の制限はありません

9. 注意

- ① 千葉県大会では審査の公平を期するために、作品から校名を排除する規定になっています。
全国大会とは規定が異なります。もう一度ご確認ください。
- ② 故意でなくても、コンテスト中に携帯電話の着信音を鳴らす等のコンテストを妨げる行為があった場合には、その当事者を退場とします。なお、その当事者がアナウンス部門、朗読部門の発表者だった場合には、失格となる場合があります。VM・AP部門では、当該者の在籍校を失格とする場合があります。
- ③ アナウンス、朗読部門の本選発表順は、予選終了後本人の抽選(くじ引き)により決定します。
※予選免除者の抽選は、予選当日来られない者については、代理人の抽選も可です。
(代理人がいない場合は、主催者側で処理します。)
- ④ 全国・関東大会に推薦された場合、規定人数(生徒)分の旅費は、千葉県高文連が規定の金額を補助いたします。それ以外の費用については各学校等でご負担ください。
(詳細については、後日該当校に連絡いたします。)

- ⑤ 公開審査ですので、一般の見学者も歓迎致します(受付で、氏名や関係を記帳していただきます)。
 ⑥ 番組部門の応募作品が増えています。例年通りの運営が難しい数の応募があったときは、
VM・AP部門の非公開予選を前倒して行う場合があります。その際はメールで顧問宛に連絡しますのでご注意ください。

【提出物チェック欄】 ご活用ください。

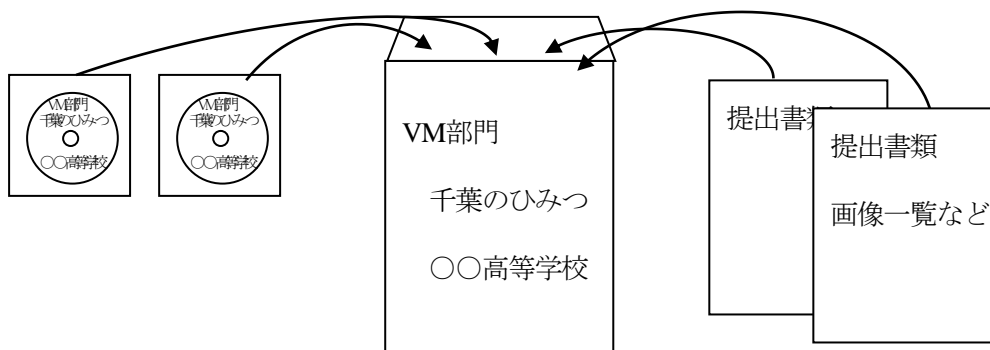
VM

作品DVD-R	バックアップ	レーベル ケースラベル	様式1-1 表紙・制作意図	様式1-2 スタッフ・キャスト	様式1-3 著作物一覧	様式3-1 音源使用許諾書	様式3-2など 使用許諾書

AP

作品DVD-R	バックアップ	レーベル ケースラベル	様式1-1 表紙・制作意図	様式1-2 スタッフ・キャスト	様式1-3 著作物一覧	様式3-1 音源使用許諾書	様式3-2など 使用許諾書	画像一覧

作品DVD、バックアップDVDや書類などは、**角2サイズ程度の封筒に入れ、封筒の表面に部門名、作品名、学校名が分かるように記載**してください。



アナウンス

様式2-1		様式2-2		2部作成	ホチキス留め
部門名・氏名 タイトル	予選の発表番号	ページ番号	最終ページに 学校名記入		

朗読

様式2-1		様式2-2			2部作成	ホチキス留め
部門名・氏名 作者名・作品名	予選の発表番号	ページ番号	予選で読む箇所に 傍線を引いたか	学校名記入		